

明日のため今日の日本を知る調査

国勢調査

10月1日

昭和五十五年十月一日、全国一斉に国勢調査が行われます。国勢調査は、国内に住んでいるすべての方を対象とした国の

最も基本的で大規模な統計調査です。大正九年、「文明国への仲間入り」を合言葉に初めて実施されて以来、五年ごとに行われ、ことしの調査は十三回目にあたります。

全国で約七十五万人の調査員が調査表を全世帯に配付し、ご記入していただくというこの国をあげての一大統計調査によって、人口や世帯数はもちろん、年齢別・配偶者別・産業別・職業別にみた人口構成なども明らかにされます。その結果は都道府県や市町村別にまとめられ、行政の基礎資料、社会経済上の基礎資料、また皆さんに身近なかな、市議会議員に多数の決定などあらゆる方面にわたって活用されます。

当市では、六月一日に国勢調査実施本部を市役所企画室統計係内に設置しており、その調査

9月30日までに調査票がお手もとに 皆で協力、国勢調査



には四百三十人の方があたりまで調査する項目は次のとおりです。

▲世帯員に関する事項▼
氏名、男女の別、世帯主との続柄、出生の年月、配偶の關係現住居に入居した時期、教育就業状態、従業地または通学地、所属の事業所の名称及び事業の種類など

▲世帯に関する事項▼
世帯の種類、世帯員の数、家計の収入の種類、住居の種類、居住室の数、居住室の畳数、住宅の建て方。

納税はくらしと市政を結ぶ糧
今月は
市県民税2期
の納期です

守り神は杉の葉の 仁王様

～ 松 原 ～

われらが町内 わがグループ

No. 13

市の北部、下内川沿いに縦走する国鉄奥羽線の上り線と下り線にちょうど挟まれるように位置する松原地区は小高い山と田畑に囲まれた世帯数66戸、人口274人の純農地区です。



部落を見守る仁王様

村のほぼ中央部には山神社があり、その入口にあたる鳥居の横に、背丈2メートルほどの杉の葉で型どられた人形、通称「仁王様」が二体飾られています。

よる演芸大会が開かれます。踊りやのど自慢と共に、子供たちの演劇、老人クラブの芝居はそれぞれ創意工夫され、部落の人たちの大きな楽しみのひとつです。青年会の活動でもうひとつユニークなものがあります。今年の6月、部落の住民票を作り直しました。家族構成、生年月日はもちろん末尾には住居を表示した地図を添え、他から来る人からはもちろん、部落の人にも大変重宝されています。

この仁王様、古くから部落の守り神として奉られ、三年に一度の割で部落の人々の手によって作られてきました。部落の人々の無病息災とその年の豊作を祈りお盆の前後に作られますが、むかし部落の両端に一体ずつ立て掛けられ、それを若者がかづいで部落中を練り歩き、古くなった仁王様は田んぼに持って行き焼いて豊作祈願をしました。この仁王様、作り方がなかなか面倒で、部落の人総出で作っても丸1日から2日かかり、また近頃ではその作り方を正確に知っている人も少なくなりました。「しかし古いものを見直し、良い慣習は残そうという意識が広がっており、これからは是非、できたら毎年作りたい」と部落会長の福土裕さんは話してくれました。

また、若者が今何を思っているのか、世代を超えて理解してもらおうと文集を作って全戸に配布するなど、その活動は地味ながら活発です。その他、親子会や婦人会などもそれぞれ協力し合うなど、新しいものと古いもの、さらに実用的な活動を上手にかみあわせた松原部落は、これからは素晴らしいチームワークを見せてくれることでしょう。

フォトニュース



「ローリースキー大会」8月3日
今年が第二回目、約八十人の選手が力走し、高校女子5キロでは大館桂高勢が上位を独占。



「老人スポーツ大会」7月29日
「日頃鍛えたこの体、まだまだ若いもんには負けないぞ!」約八百人の老人が参加。



「大滝温泉まつり」7月26、27日
神社前の守護灯大燭台にローソクの火がともり、地元住民や観光客が参加して温泉まつり踊りがにぎやかに行われました。

フォトニュース

有リン洗剤は水質を悪化させる 使用の自棄を

消費者の窓

合成洗剤に含まれているリンが、川や海の水質を悪化させていることをご存知ですか。このため、最近では「無リン」又は「低リン」と表示した合成洗剤を店頭で見かけるようになりまし。

合成洗剤にはその効力や洗浄力を増すために、リンが使われていますが、このリンは窒素とならんで動植物の成長に欠かせない栄養素の一つです。ところが、合成洗剤の排水をはじめ工場排水や農業排水に含まれるリンや窒素が、川から湾内など水の出入りの少ない「閉鎖性水域」に大量に流れこむと、水質は肥よく化し、いわば栄養過多の状態「富栄養化現象」になります。

この結果、藻類などの水生生物が異常繁殖し、水質が悪化するため、魚貝類の生息に悪影響をおよぼします。赤潮発生など。このような水質悪化を防ぐために、国(環境庁)では先ごろ「富栄養化対策」の一つとして、リンを含む合成洗剤の使用を自棄し、今後、無リン又は低リンの洗剤や石けんの使用を広める方針を打ちだし、県及び市でもこの運動を広げることになりました。

無リン洗剤には、リンに代わる新しい成分が配合されており、効力は変わりません。水は、わたしたちにとって最も大切な資源です。水を保護し、わたしたち自身の生活環境を守るために、有リン洗剤の使用を自棄し無リン・低リン洗剤や石けんへの切り替え運動を広めましょう。

文化財

市の天然記念物 「出川のケヤキ」

昭和53年3月13日指定
所在地：大館市出川字上沢岱46の1
所有者：出川宇上沢岱34の1
佐藤久太郎さん外62名

このケヤキの木は、真中の出川部落の入口に高くそびえ立ち、はるか昔から遠望できる樹高二十三メートルの巨木で、根元から幹が五本に分れて株立ちとなっており、一番太い幹の直径は二・五メートル、樹冠は東西、南北とも約二十七メートル、根株は東西が約五メートル、南北が約八メートルあります。

この木は、大正の初めごろには、千年近いケヤキの古木の特徴とされる、枝の先が地面まで届くほど繁茂していたと言われ、その後次第に下方の枝がなくなり、普通の樹木の姿になったと言われています。また、二十年ほど前には、五本の幹の中で一番太い幹の中間部にカメバチが巣を作り、その駆除のため火をつけたことから樹勢が弱まり、十年ほど前に高さ十三メートルの所で折損してしまっったことですが、その後幹の残部が再び樹勢を回復し、側枝が伸び続けており、また他の四本の幹の樹勢もすこぶる盛んなことから、今後ますます成長繁茂を続けることでしょう。

(当日が日曜のときは翌日) 場所：市役所第1会議室